

隊員の安全確保規定欠如

参院特別委 従来の答弁と矛盾

安全保障関連法案に関する参院特別委員会は二十五日、安倍晋三首相が出席して集中審議を行った。中谷元・防衛相は、集団的自衛権を行使する存立危機事態

での他国軍支援を定めた法案に、自衛隊の安全確保に関する規定がないことを認め、安全を確保する規定を全法案に盛り込んだとする政府のこれまでの説明が

他国軍支援に関する主な法案

適用する事態	活動の安全確保
米軍等行動関連措置法案 ①日本に対する武力攻撃が発生、切迫、予測される事態 ②日本と密接な関係にある他国への攻撃により、日本の存立が脅かされる事態	明記せず
自衛隊法改正案 そのまま放置すれば日本への武力攻撃に至るおそれがあるなどの日本の平和と安全に重要な影響を与える事態	明記
国際平和協力法案 国際社会の平和と安全を脅かす事態で、国際社会が国連憲章に基づき共同対処する事態	明記



参院平和安全法制特別委でいる立つ安倍首相。右は中谷防衛相—25日、国会で

揺らいだ。野党は自衛隊のリスクは高まりないとする

政府の主張を「ごまかしだ」と批判した。論戦の焦点⑤面

民主党の福山哲郎氏が、日本有事や存立危機事態に実施する他国軍支援の根拠となる米軍等行動関連措置法案に隊員の安全を確保する規定があるかどうかをたずねた。これに対し、中谷氏は「規定はないが、安全

に配慮して運用する」と述べ、運用で隊員の安全を確保する考えを強調した。

他国軍支援を定めた法案のうち、国際貢献を目的とする国際平和支援法案、日本の安全確保のための重要影響事態法案には、いづれも自衛隊の活動を「円滑かつ安全に実施」とした文言が盛り込まれている。

安倍首相は六月一日の衆院特別委で、自衛隊の安全

を確保する規定は「すべての法案に貫徹することができた」と説明していた。

福山氏は、この日の中谷氏の答弁は従来の政府の立場と矛盾すると追及。「法案に安全確保規定を入れるか、審議のやり直しをしてほしい」と反発し、審議はたびたび中断した。鴻池祥肇委員長は「かみ合わない議論は、質疑の時間を無駄にする」と政府に正確な答弁を求めよう求めた。

8/26
早稲田